

令和5年度 目標設定書（学校給食センター）

学校給食センター所長 笹川博嗣

1 当課の主な業務は次のように定義されます。		
安全・安心な学校給食の提供に関すること		
2 当課の業務は次の方々のために行われます。		
町立小中学校に在籍する全ての児童・生徒の皆さんのために。		
3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。		
目標名	地場産物を活用した特色ある献立の導入	
指標名	地場産物使用量	
数値目標	初期値（平成30年度）	6,472kg
	現状値（令和4年度）	10,268kg
	目標値（令和5年度）	11,295kg
	最終目標値（令和6年度）	12,500kg
設定根拠	令和2年度使用量（12,125kg）を基準にして、毎年、地場産物の使用を一定量増量することとし、児童・生徒数の減少も考慮して最終目標値を12,500kgとしました。	
事業概要	児童・生徒の郷土への関心や親しみ、生産者への感謝の気持ちを育むため、地場産物を活用した特色ある安全安心な学校給食を提供します。	
4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待されます。		
地場産物を活用した特色ある献立を作成し、活用した食材等を紹介することにより、食を通じて児童・生徒の生産者に対する感謝の気持ちと郷土愛が育まれます。		
5 昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。		
天候不順や鶏卵の流通停止なども重なり、地元農産物の安定した入荷が行えず、前年度から903kgの減となりました。		
6 当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。		
地場産物の活用については、安定した食材の数量の確保が必要となります。食育の観点から地場産物を献立に取り入れたいという趣旨を、いるま野農業協同組合及び生産者等に対して更に周知し、安定した出荷について働きかけを行うなど連携を引き続き強化し、目標達成のために努めてまいります。		